

## 〈学 長〉

國學院大學観光まちづくり学部 学部長・教授

西村 幸夫 (にしむら ゆきお)氏



1952年、福岡市生まれ。

東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授。2018年3月に東京大学を退官後、東京大学名誉教授。アジア工科大学助教授（バンコク）、MIT 客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授、日本イコモス国内委員会委員長などを歴任。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。

工学博士。神戸芸術工科大学教授を経て、2020年より國學院大學教授、2022年4月より同観光まちづくり学部長、現在に至る。

主な著書に『都市から学んだ10のこと』（学芸出版社、平成31年）、『京都物語』（有斐閣、平成30年）、『西村幸夫 風景論ノート』（鹿島出版会、平成20年）、『都市保全計画』（東大出版会、平成16年）、『西村幸夫 都市論ノート』（鹿島出版会、平成12年）、『環境保全と景観創造』（鹿島出版会、平成9年）など。

主な編著書に『図説都市空間の構想力』（学芸出版社、平成27年）、『まちの見方・調べ方』（朝倉書店、平成22年）、『観光まちづくりーまち自慢からはじまる地域マネジメント』（学芸出版社、平成21年）、『証言・町並み保存』（学芸出版社、平成19年）、『まちづくり学』（朝倉書店、平成19年）、『路地からのまちづくり』（学芸出版社、平成18年）、『都市美』（学芸出版社、平成17年）、『日本の風景計画』（学芸出版社、平成15年）、『都市の風景計画』（学芸出版社、平成12年）などがある。

和歌山県景観審議会会長、千代田区景観まちづくり審議会会長、倉敷市景観審議会会長、日本ユネスコ協会連盟未来遺産委員会委員長などをつとめる。世界遺跡記念物会議（ICOMOS）元副会長。